

(一財) 自治体国際化協会 ロンドン事務所主催 第41回オンラインセミナー

スウェーデンに学ぶ、 成人教育と生涯教育の可能性

2025年2月26日水曜日 サリネンれい子

サリネンれい子 Reiko Sallinen

岐阜大学教育学部障害児教育学科卒

ストックホルム大学特別支援教育学部卒業

ウプサラ大学教育学部特別支援教育専攻修士課程在籍

スウェーデンと日本の教員免許有

スウェーデンの特別支援教育士 (Specialpedagog) 資格有

ストックホルム市の基礎特別支援学校のヘッドティーチャー



出版物など



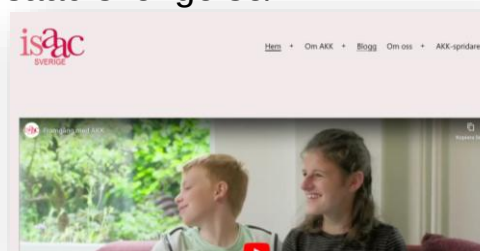
NPO法人 HATI JAPAN
～多文化多言語の子供発達支援～
理事

<https://www.hatijapan.or.jp/>

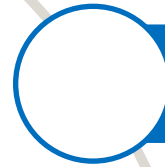


非営利団体 isaac (拡大代替コミュニケーションのスウェーデン支部) 理事会メンバー

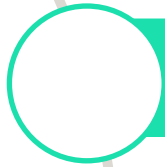
<https://isaac-sverige.se/>



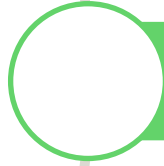
本日の内容



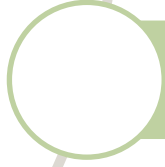
スウェーデンの教育システム



スウェーデンの成人教育と生涯教育の歴史と概要



スウェーデンの職業大学



スウェーデンの成人教育機関



スウェーデンの生涯教育

スウェーデンの統治機構

国



国会・中央府省・
行政庁（300庁以上）

教育省

Utbildningsdepartementet



[Det här fotot](#) av Okänd författare licensieras enligt [CC BY-SA](#)

広域行政体



21 レギオン
医療、地域交通などを管轄

[Det här fotot](#) av Okänd författare licensieras enligt [CC BY-SA](#)

基礎自治体



290 コミューン
教育・福祉・地域行政、
老人福祉を管轄

[Det här fotot](#) av Okänd författare licensieras enligt [CC BY-SA-NC](#)

スウェーデンの教育の統治システム



スウェーデンの教育システム

就学前学校

(幼稚園・保育園など)

- 就学前学校
- そのほかの教育の場

0 - 5 歳

基礎学校

(小中学校)

- 就学前クラス
(6 歳児教育)
- 基礎学校
- 基礎特別支援学校
- サーマ学校
- 特別学校
- 学童保育

6 - 16 歳

高等学校

- 高等学校 (3 年)
- 特別支援高等学校 (4 年)

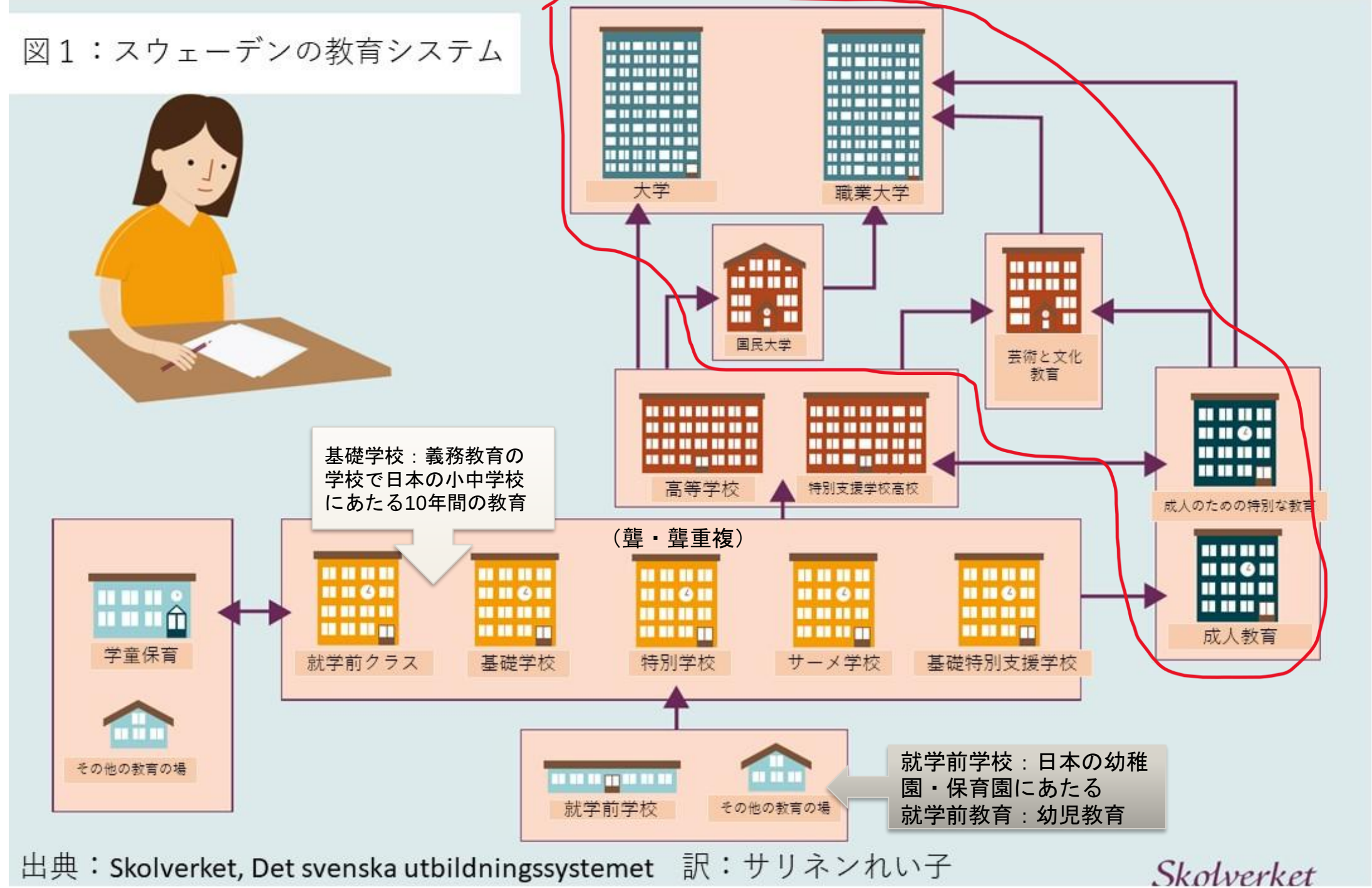
16 - 19 歳

成人のための教育機関

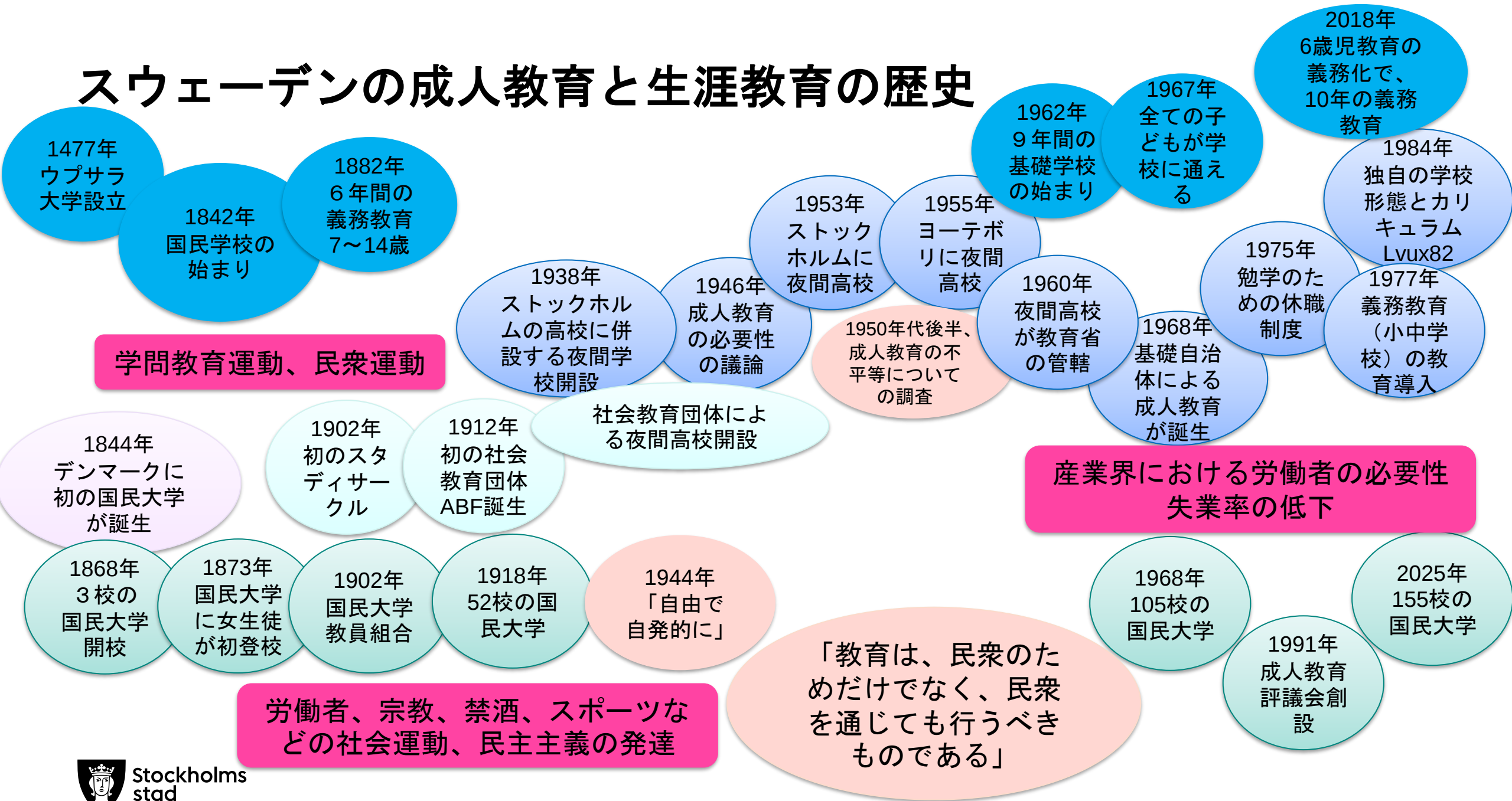
- 大学
- 職業大学
- 芸術と文化の教育
- スウェーデン語教育を含む成人教育
- 国民大学

18 歳以上

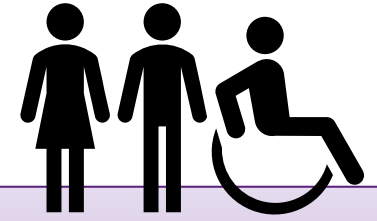
図1：スウェーデンの教育システム



スウェーデンの成人教育と生涯教育の歴史



スウェーデンのリカレント教育とリスキングとは



Livslångt lärande: 生涯教育：長い人生を通した学び



スウェーデンの成人教育と生涯教育の概要

大学
Universitet
och högskolor



大学評議会

職業大学
Yrkeshögskola
(YH)



職業大学庁

成人教育機関
Kommunal
vuxenutbildning
(komvux)

Skolverket

学校庁

国民大学
Folkhögskola

カルチャースクール、社会教育団体
Studieförbund och
övrig folkbildning

Folk-
bildnings-
rådet

国民教育評議会



「学びのセンター」
ネットワーク団体

Nitus
NÄTVERKET FÖR KOMMUNALA LÄRCENTRA

スウェーデンの大学に入学するには



- 高校卒業後に進学した人口（25-64歳）の割合：全体45%、女性52%、男性39%（2021年統計庁より）
- 大学に進学した若者（19-24歳）の割合：全体23%、女性28%、男性19%（2023年秋、若者市民社会課題庁より）

- 成績は6年（もしくは4年生）から5段階評価で「**不可（最低到達基準）**」がある。
- 基礎学校9年生の最終成績の不可の教科や数によって高校に進学が決まる。
- 高校に進学できない場合は、「高校進学準備クラス」に通うことになる。

高校

- 大学進学準備プログラム
- 職業プログラム

高校進学準備クラス

- 秋学期と春学期の年2回、大学に出願でき、**高校の成績**や「大学テスト」のポイントなどをもとに合否が決まる。（年2回の入学が可能）
- 一部の大学では、実技試験などもある。

4年以内の高校卒業資格取得率：全体83%、女性85%、男性81%（2019年、若者市民社会課題庁より）

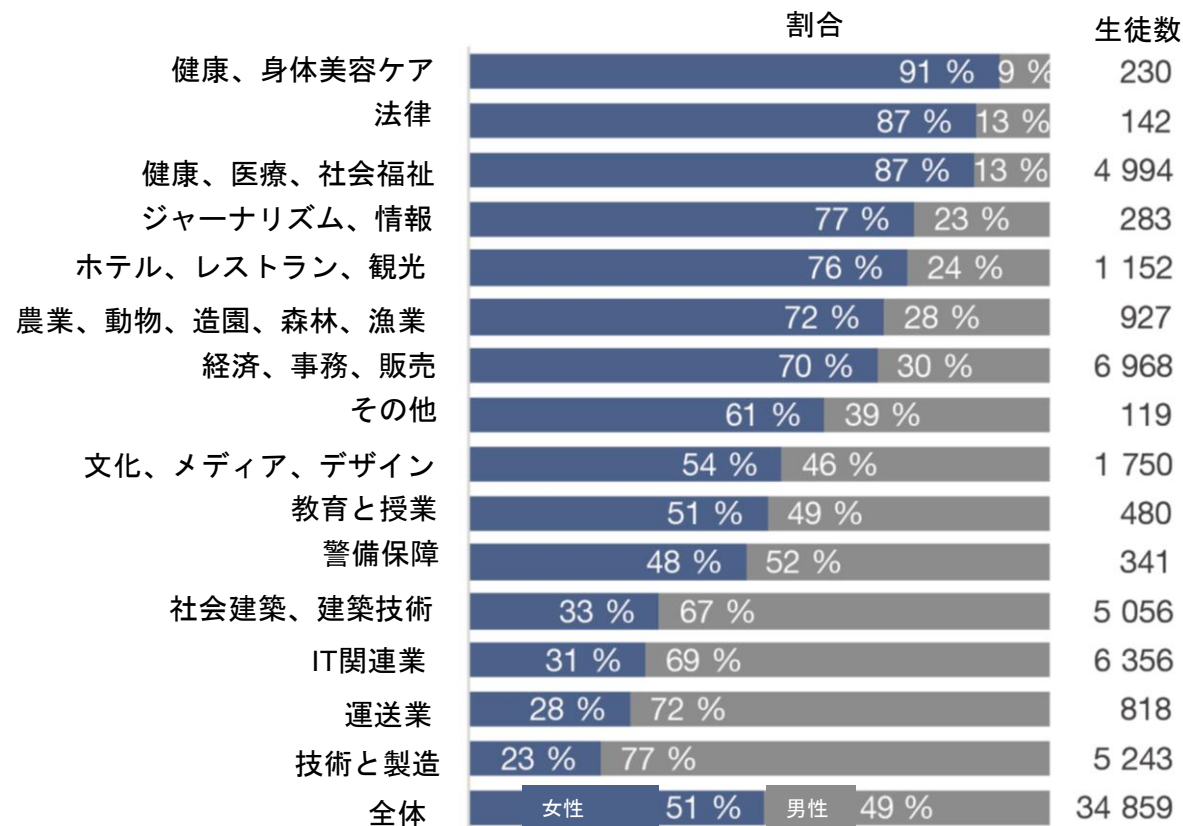
基礎自治体の20歳以下の若者への活動支援義務
(学校法第29章9条)

職業大学: Yrkeshögskola



- 職業大学のプログラムは、労働市場のニーズによって決まる
- プログラムは、職業大学庁に申請し、産業界との連携が必要
- 入学には、高校卒業資格が必要（例外あり）
- 1～2年のプログラムが多い
- 現場実習を含む
- 学費無料で学べ、CSN（中央学生支援機関）からの支援を受けることができる（一部個人負担あり）
- 運営は、基礎自治体や広域行政体などの公的機関、民営など。

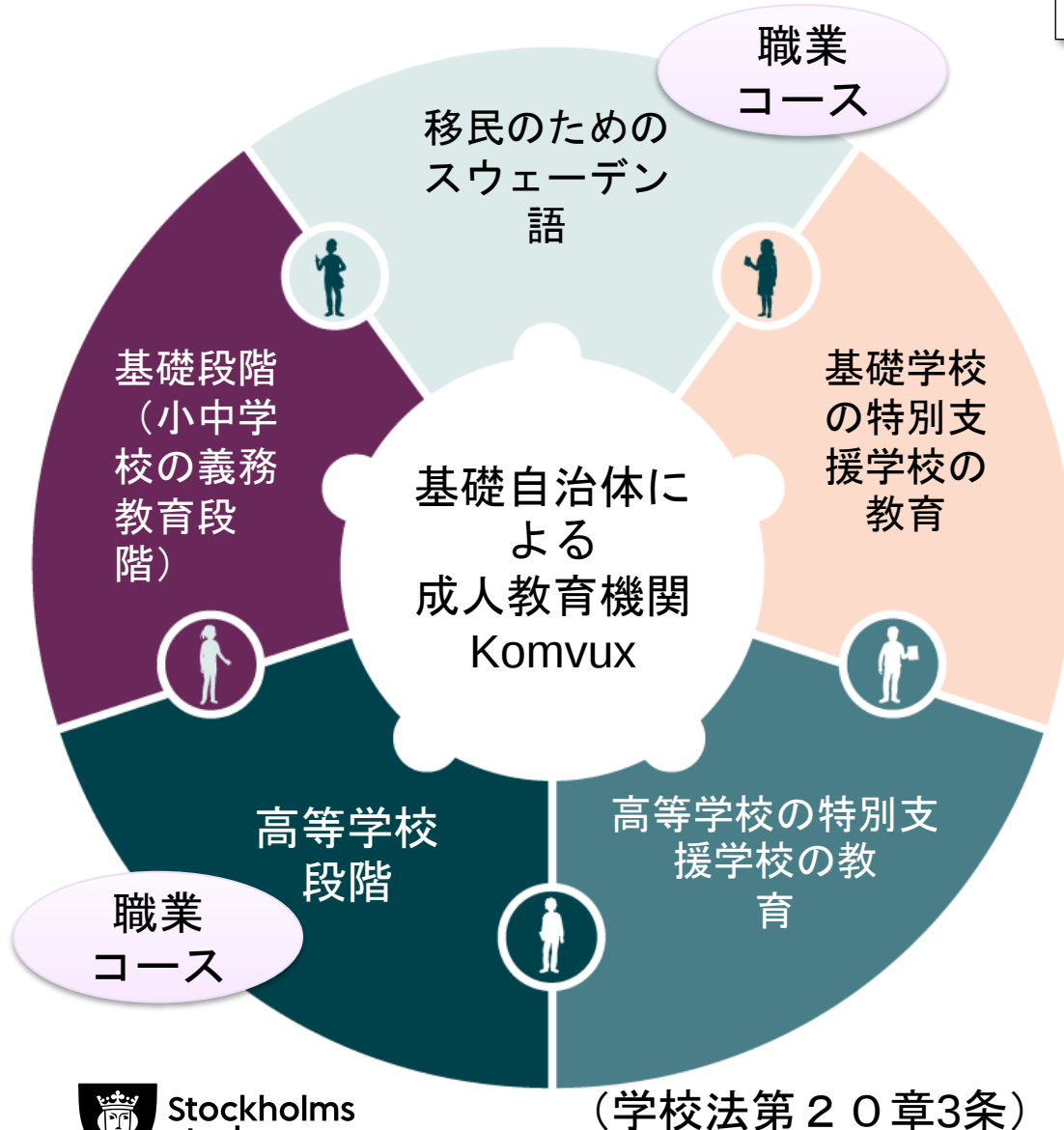
2023年のプログラム区分の生徒数と性別割合



2023年、女性17800人、男性17100人が職業大学で学び始めた。2022年の卒業生のうち、89%が2023年に仕事に就いていた。

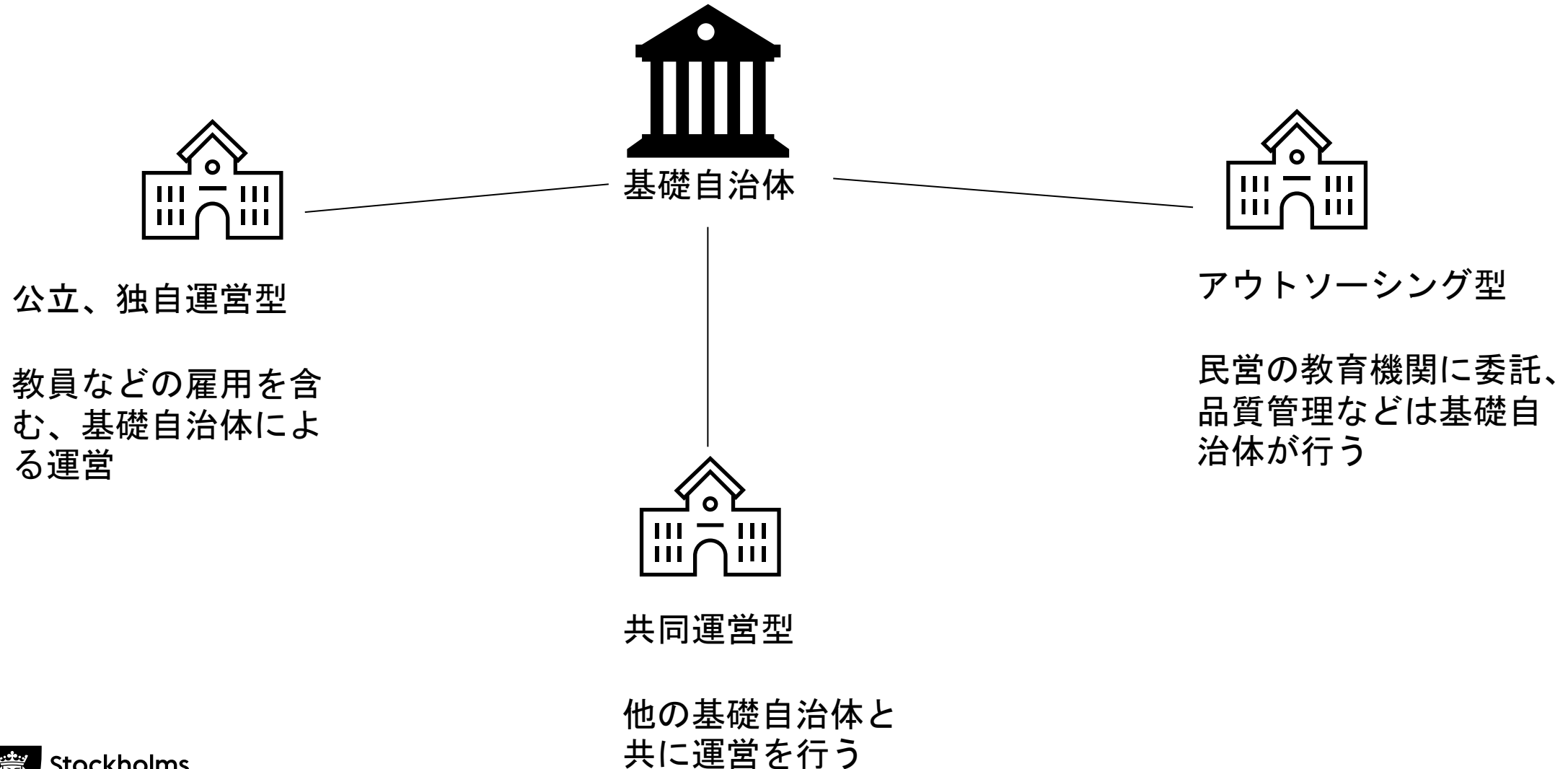
成人教育機関: Komvux

Skolverket

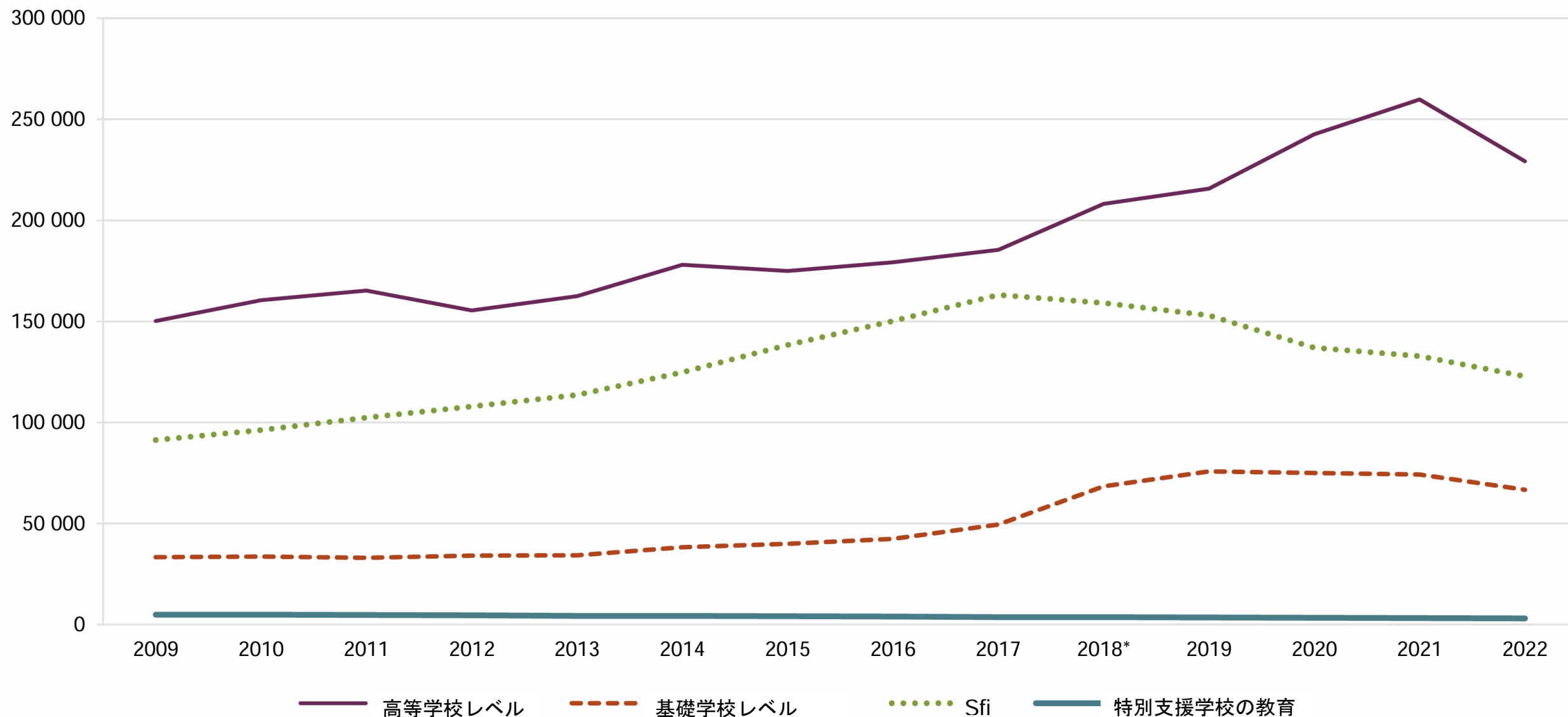


- 学校法により、基礎自治体に設置義務有
- 20歳（移民のためのスウェーデン語は16歳から）通うことができる
- 学費無料で学べ、CSN（中央学生支援機関）からの支援を受けることができる
- 社会で暮らし、労働に従事して行くために必要な知識を与えることが主目的

成人教育機関の運営方法



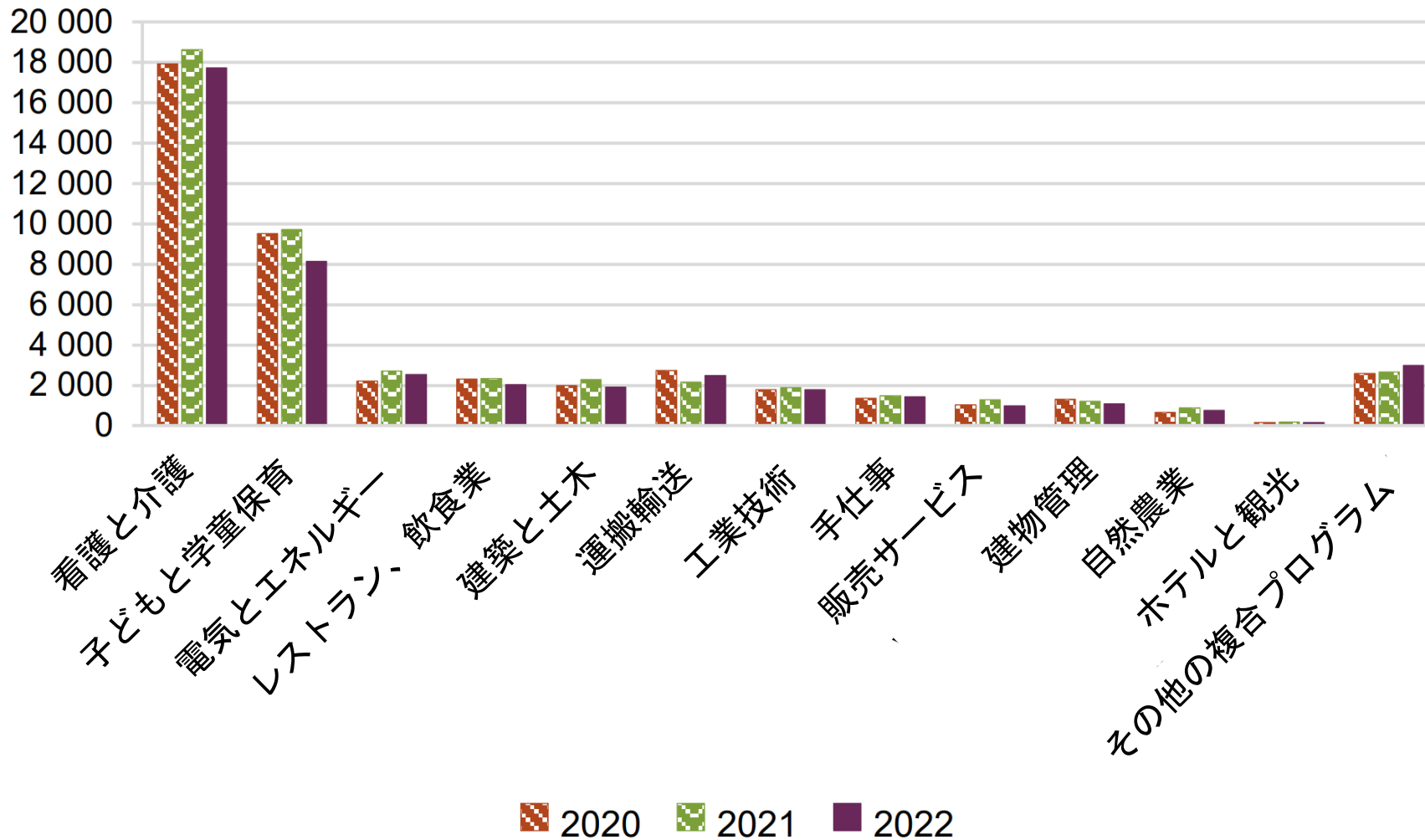
成人教育機関、Komvuxで学ぶ生徒の推移



*学校庁の資料に基づき、サリネン作成

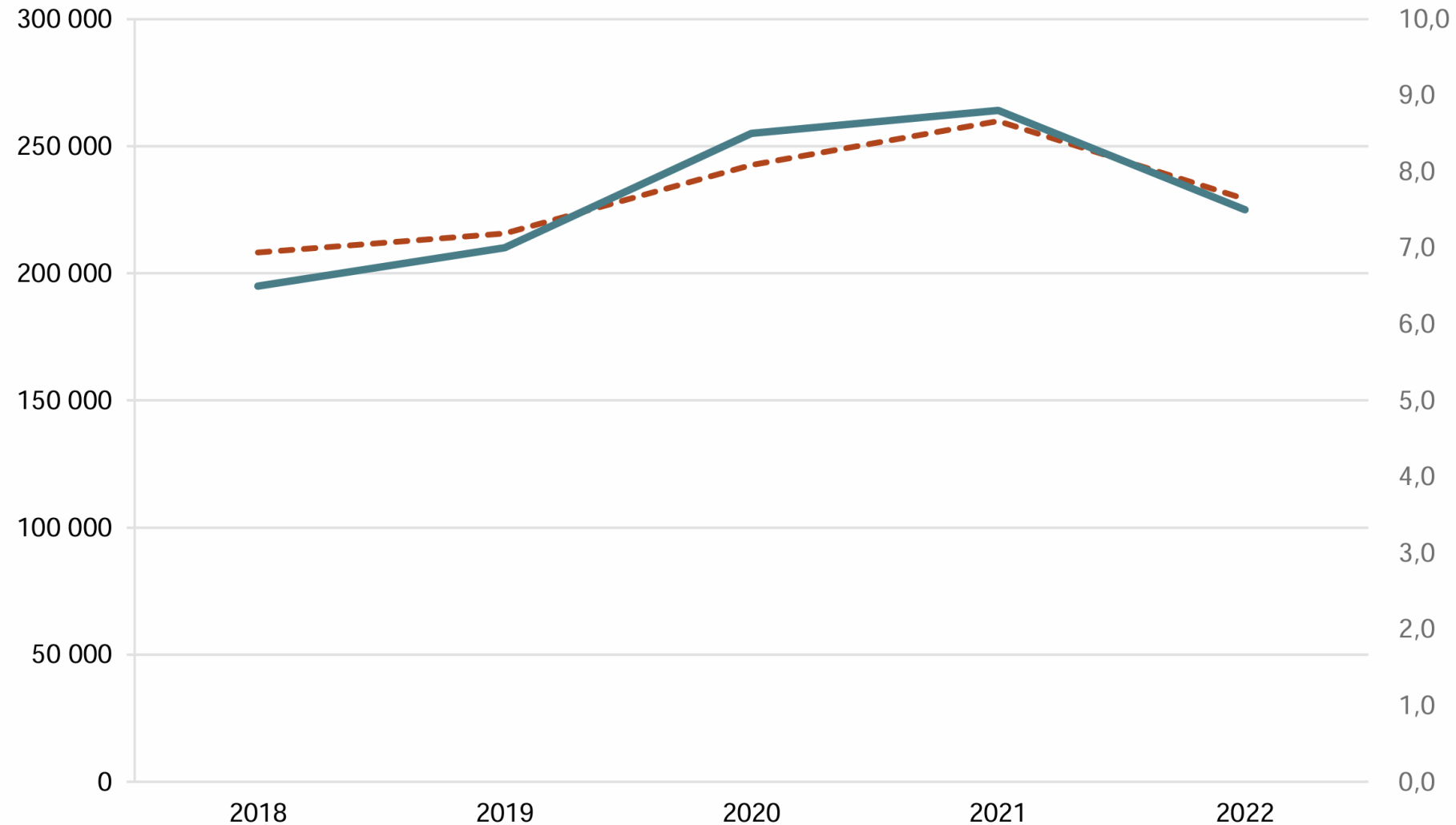
移民のためのスウェーデン語教育

2020年から2022年に成人教育機関の高等学校レベルで 職業教育を学んだ生徒数



*学校庁の資料に基づき、サリネン作成

成人教育機関で高等学校段階を学ぶ生徒数と失業率の推移



高校と成人教育機関の課題と学校法の改正

課題

- 教育を必要とする人を見つけて、支援していく
- 労働市場における人材、的確な能力の不足一雇用者や産業界の必要に応じた職業訓練の必要性
- 十分な実習先の確保
- 国内における教育の平等、アクセシビリティ、品質などの差
- 教員不足

- 学校法の改正(2023年7月1日施行、2025年の教育から適用)
- 高校のナショナルプログラムと一部のイントロダクションプログラム、成人教育機関における職業コースにおいて、基礎自治体は、**その地域の労働市場の必要性と若者と成人の望む学びのコースの両方から、成人教育機関のプログラムやコースを提供しなければならない。**
- 最低2つの基礎自治体と連携協力を行う。（ゴットランドを除く）



「地域計画資料」の導入

- 2023年に、学校庁より初めて出される
- 雇用労働市場側と学ぶ側両方の情報を集めた資料
- 国内21の広域行政体区域で出される
- 3年ごとに更新



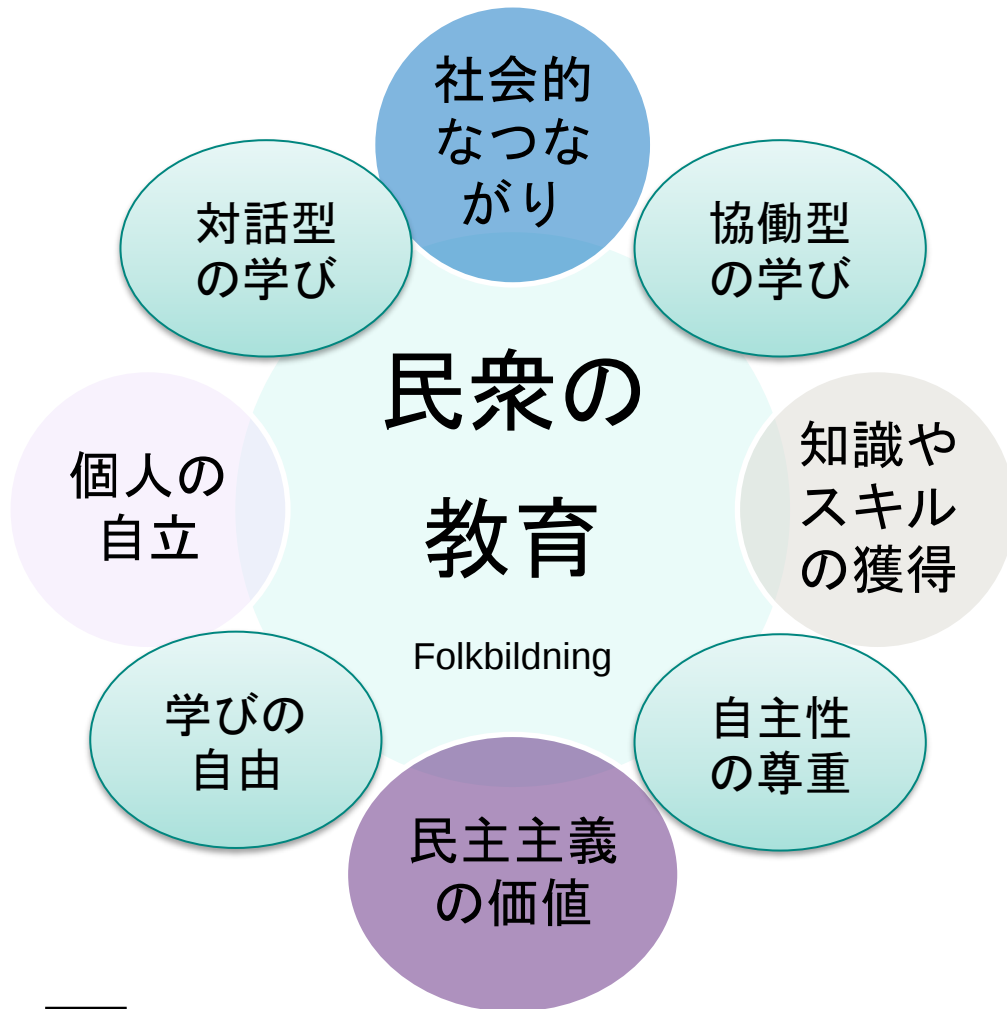
2023年に出されたスウェーデン北部の「Norrbotten 広域行政体」の地域計画資料より、成人教育機関の今後の見通し



職業区分	2022年の生徒数	変化の方向
子どもと学童保育	96	→
建築と土木	68	→
電気とエネルギー	47	→
運搬輸送	100	↑
販売とサービス	14	↓
理美容師とスタイリスト	-	→
ホテルと観光	2	→
工業技術	37	↑
自然産業	-	→
レストランと飲食業	16	↓
建物管理	11	↓
看護と介護	250	↑

成人教育評議会：Folkbildningsrådet

Folk-
bildnings-
rådet



国民大学
Folkhögskola

カルチャースクール、社会教育団体
Studieförbund och övrig folkbildning

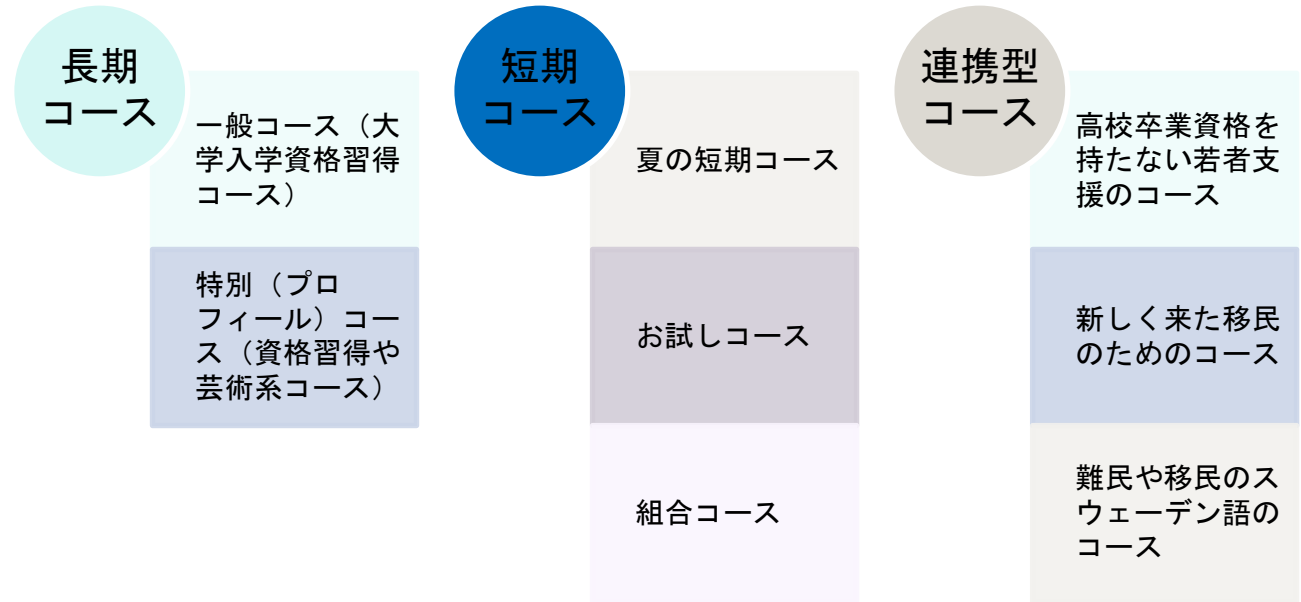
- 非営利組織
- 国家補助金を国民大学と社会教育団体に分配し、品質管理、報告書の作成などを行う
- 成人教育と生涯教育の効果と結果、その発展などの報告
- 政府や省庁、労働市場、産業界、教育機関などとの連携

国民大学 : Folkhögskola

Folk-
bildnings-
rådet

- スウェーデン国内に、155 の国民大学がある
- 155校のうち、113の国民大学は、何かしらの理念に基づいて運営されており、残りの国民大学は、広域行政体によって運営されている
- 必ず高校レベルの教育が受けられる「一般コース」を設けなければならない
- 学費無料で学べる（一部負担あり）
- CSN（中央学生支援機関）からの支援を受けることができる
- 大学入学には、「国民大学卒」の特別枠がある
- 最長4年に渡る様々なコースがある

- 18歳以上を対象としている
- 長期で、集団の学びを重視している
- 成績はなく、評価が出される
- 寮があるところも多い



2023年の一般コースを受けた人の背景や性別などの割合（％）



- 約19,000人が一般コースに参加
- 約39,000人が特別コースに参加
- 約38,000人が短期コースに参加
- 約23億5,000万クローナの政府助成金を受けた

カルチャースクール、社会教育団体：Studieförbunden

- 国から補助金が支給される
- 9つの政府助成金対象の団体がある
- 個人学習ではなく、グループ学習に重点を置いている
- 対話型学習、協働学習
- プログラム内容を一方的に提供するのではなく、自分たちが学びたい内容を提案して学ぶ
- スタディサークル、文化的なイベントなどの民衆の教育

自主的な参加であること
誰でも参加できること

スタディサークルとは：

自発的な学び

- 3人以上の活動であること
- 6歳から参加可能
- リーダーは、16歳以上
- 運動以外の、音楽、政治思想、文化、言語などの幅広い内容を対象としている



社会教育団体や
協会が主催し、
公募する

社会教育団体や
協会を通じて、
行う

2023年の参加者の背景や性別などの割合（％）



- 約10万3千の学習サークルに約34万7千人が参加
- 約15万の文化イベントに820万以上の訪問者
- 約5万2千の他の市民教育活動に約37万人が参加
- 約17億7500万クローナの政府助成金を受けた

CSN、中央学生支援機関について



大学、職業大学、成人教育機関、国民大学などで学ぶ際に、経済的支援する機関

- 返済不要の支援金と、返済型のローン支援金の2種類がある
- 返済型のローン支援金の利子は、1,981%（2025年）
- 支援金は、学ぶ割合（100、75、50%）や何週間学ぶか、収入があるかによって変わる
- 61歳まで利用できるが、51歳以降は、返済型のローン支援金が減少する

- CSNが使える教育機関で学ぶ必要がある
- 一度学び始めた内容がある場合は、それは終了していないと、新しく支援金の申請はできない
- 利用できる期間に制限あり、100%の学びで最長480週まで（約6年）

	1 週間の支援金	4 週間の支援金
返済不要の支援金	1023 kr	4092 kr
返済型ローン	2353 kr	9408 kr
合計	3375 kr	13500 kr

大学で100%で学んだ場合の支援金の一例、2025年2月現在1クローネは約14円



*ロゴ、資料はは、CSNサイトより

リスキングの支援 (omställningsstudiestöd)

現在の職業でのスキル向上や、新しい職業に転換する機会をもたらす支援金

- 27～62歳の人を対象（60歳以降例外あり）
- 成人後に最低でも96か月（8年）働いており、現在労働に従事している人が対象
- 現在の収入の80%が支援金として出る。ただし、上限あり。2025年は、週単位で最大5580kr。
- CSNが使える教育機関で学ぶ必要がある
- 100%で学んだ場合、最長44週間支援金の利用が可能



*ロゴ、資料はは、CSNサイトより



政府の新たな政策

- 景気の後退が予測されるため、労働市場の変化に対応すべき、地域の職業成人教育の強化に9億クローネ
- 成人教育機関の品質向上に、11000万クローネ。
- 現場実習の担当者の報酬システムの改善
- 現場実習の補助金の改善
- 職業大学の入学システムの改善
- 社会福祉にかかわる人の言語強化
- 障害がある成人の学びの支援

65歳

平等な学習機会と
格差の縮小

生涯教育

個人の成長
と自己実現

労働市場
への人材
供給

成人教育

民衆教育

民主主義と
社会参加

18歳

義務教育

ご清聴ありがとうございました



ご質問やご意見などありましたら、以下のご連絡ください。

サリネンれい子

rbsallinen@gmail.com

